

2022 年度 大学院春季入試（外国語学研究科日本語文化学専攻）

博士課程（前期&後期）

外国語科目 英語

---

【合否判定の方法】

《外国語科目》《専門科目》《面接》

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2022 年 2 月 18 日

2 科目 （100 点満点）

外国語（英語）

3 出題意図

英語問題は複数の問題形式により、受験者の外国語（英語）の能力を、読解力を中心に測定する。2つの問題は文法能力や語彙知識を問う、多肢選択式の問題である。残り一つは450語程度のまとまった英文を読み、その内容を600字などの字数制限を設けて、わかりやすく説明をする問題である。

大学院では外国語で書かれた文献を読む必要から読解力を重視しているため、読解問題を中心としながらも、客観的な問題と併せて、総合的な外国語能力を測定する。

模範解答例

I. 短い英文の空所に入る適切な語や語句を4つの選択肢から選ぶ問題。

1. B
2. A
3. D
4. D
5. A
6. A
7. D
8. D
9. B

10. B

II. 10 問の短文の英文の各空所に入る語、または語句を 4 つの選択肢から選ぶ問題。

1. A
2. D
3. D
4. A
5. A
6. D
7. C
8. B
9. B
10. A

III. 450 語程度の英文の内容を、600 字程度の日本語でわかりやすく説明する問題。

この文章は、英語力を武器に海外で学び挑戦を続けた女性の鍛冶職人を描いています。

千葉県で鍛冶工房を営む飯島-伊藤愛さんは、自身の成功において英語力が大きな役割を果たしたと語っています。彼女は日本で確固たる地位を築き、2019 年には千葉県伝統鍛冶協会で初の女性会員となりましたが、国際的な顧客や世界中の職人とのつながりは、英語でのコミュニケーション能力によって可能になりました。

幼い頃から英語に親しみ、将来の可能性を広げるために英語を身につけたいと考えた彼女は、音楽などを通じて独学でも学習を続けました。その後、イギリスに留学し、環境の変化や学費、英語面接など多くの困難に直面しながらも、自ら選択して人生を切り開きました。

鍛造(たんぞう)との出会いは留学中で、専門用語が分からなくても繰り返し聞き取り、英語のまま理解する努力を重ねたことが大きな成長につながりました。その結果、学業・技術の両面で優秀な成果を収め、著名な工房での徒弟制度の機会も得ます。

帰国後は自身の工房を立ち上げ、国内外に製品を販売し、英語でワークショップも行うまでになりました。彼女は、専門分野の英語を恐れず多くの語彙を身につけること、そして翻訳に頼らず英語で考え続けることが重要だと強調します。前向きな姿勢と挑戦心が人生を変える鍵であり、「未来に何が待っているかは分からない」という言葉を信条にしています。

(547 字)

以上